

山陰地方（隠岐群島を含む）及びその付近 海域のカニ類について

挿図 1~7

上 田 常 一

（島根大学 教育学部）

**Crabs of San-in District, including Oki Islands and its adjacent waters
(Southern Part of Japan Sea)**

With 7 Text-figures

Tsuneichi KAMITA

(Faculty of Education, Shimane University, Matsue)

I 緒 言

山陰地方及びその付近海域のカニ類を採集研究した人に、故田中市郎、故山本孝治、木村康信、千田哲資、岸田隆、前田新平の諸氏がある。田中は、山口県萩を根拠として近海に出漁する底引船の漁獲物に注意を怠らず、そのコレクションはあげて氏設の郷土博物館に陳列され、その中に多くのカニの乾燥標本を見ることができた（本館は後に萩市立郷土博物館に移管されて現在に至る）。山本は元農林省水産試験場香住分場（兵庫県）にあって、隠岐堆（大和堆のはるか南方、最浅点278m）の生物調査の際ベニズワイ11尾を得て、詳細なる観察を遂げ日本水産学会誌上に公表した。木村は隠岐島島前のカニ類を採集した。千田は鳥取水産試験場境分場にあって、境港を根拠として付近のカニ類を鋭意採集、標本は三宅貞祥教授の査定を得ている。岸田は鳥取県下カニ類の採集や生態の観察に励み、標品の査定は三宅教授に託す。前田は美保湾の生物ことにカニやエビ類の採集に興味を抱き、しばしば漁船に乗じて入網する雑物に注意を払っている。

山陰及び付近海域のカニ類は如上の他に、鳥取水産試験場（大岩）、米子市皆生水族館、隠岐水産高校、島根水産試験場（浜田）、元島根師範女子部（浜田）、元県立浜田中学などに所蔵あり、これらは試験船が採集し、底引船が持帰って寄贈したものが主である。

筆者は戦後これら多くの標本を観察することができて、一括してここに90種を報ずるが、調査研究の便宜を与えられた、標本の所有者、管理者、恵贈者のかたがたに感謝の意を表す。

II カニ類の目録

分布上及びその他の略号——N. 北方系 S. 南方系 T. 中間系

D. 深海から採集されたもの d. 機船底引網に入ったもの
g. 底刺網にかかったもの * 富山湾からも記録されたもの

Fam. Dromiidae いかむり科

1. **Dromia dehaani* RATHBUN カイカムリ 浜田 S. d.

Fam. Homolidae ホモラ科

2. **Latreillia valida* DE HAAN サナダミズヒキガニ 萩, 浜田, 大岩 S. d.

Fam. Dorippidae へいけがに科

3. **Dorippe dorsipes* (LINNAEUS) キメンガニ 萩, 淀江, 大岩 S.

4. **Doripp granulata* DE HAAN サメハダヘイケガニ 淀江 T.

5. *Dorippe japonica* V. SIEBOLD ヘイケガニ 萩 T.

Fam. Calappidae カラッパ科

6. *Calappa lophos* HERBST トラフカフッパ 萩, 須佐, 浜田 S. d.

7. *Callappa philargius* (LINNAEUS) メガネカラッパ 萩 S.

8. *Mursia armata curtispina* MIERS コツノキンセンモドキ 見島, 浜田 S. d.

9. **Matuta lunaris* (FORSKAL) キンセンガニ 方言—エビスガニ(鳥取) 浜田, 大岩 S.

10. *Matuta planipes* FABRICIUS アミメキンセンガニ 方言—エビスガニ(鳥取)
隠岐外浜, 大岩 S.

Fam. Leucosiidae こぶしがに科

11. **Myra fugax* (FABRICIUS) テナガコブシ 萩, 浜田, 隠岐, 美保湾, 加露 S.

12. *Arcania undecimspinoso* DE HAAN ジュウイチトゲコブシ 境 S.

13. **Leucosia obtusifrons* DE HAAN コブシガニ 萩, 浜田 S.

14. *Leucosia unidentata* DE HAAN ヨツメコブシ 浜田 S.

15. **Leucosia longifrons* DE HAAN ツノナガコブシ 須佐, 浜田, 隠岐外浜, 網代 S.

Fam. Raninidae あさひがに科

16. *Ranina ranina* (LINNAEUS) アサヒガニ 隠岐 S.

17. **Lyreidus tridentatus* DE HAAN ビワガニ 萩, 浜田, 隠岐 S. d. g.

Fam. Hymenosomidae やわらがに科

18. *Rhynchoplax setirostris* STIMPSON アンボソヤワラガニ 美保湾 T.

19. **Trigonoplax unguiformis* (DE HAAN) ソバガラガニ 美保湾 S.

Fam. Majidae くもがに科

20. *Pleistacantha sancti-johannis* MIERS ハリセンボン 見島, 浜田 T. d.

21. *Paratymolus pubescens* MIERS マメツブガニ 日吉津 S.

22. *Paratymolus sexspinosus* MIERS ムットゲマメツブガニ 日吉津 S.

23. **Pugettia quadridens* (DE HAAN) ヨツバモガニ 浜田, 隠岐外浜, 日吉津 T.

24. *Pugettia incisa* (DE HAAN) ヤハツモガニ 日吉津, 淀江 T.

25. **Huenia proteus* DE HAAN コノハガニ 萩, 美保湾 S.

26. **Chionoecetes opilio elongatus* RATHBUN ズワイガニ 方言—合をマツバガニ, モンジャ, 母をメガニ, オヤガニ, 母合共に甚だ小形のものをコッペ (鳥取)

- 隠岐, 鳥取, 兵庫 N. g.
27. **Chionoecetes japonicus** RATHBUN ベニズワイ 方言——ジョウジョウガニ (鳥取) 隠岐堆, 網代沖 N. D. g.
28. **Hyastenus diacanthus** (DE HAAN) ツノガニ 萩, 美保湾, 網代 S.
29. **Leptomithrax edwardsi** (DE HAAN) コシマガニ 萩, 浜田 T. d.
30. **Leptomithrax bifidus** ORTMANN ヒメコシマガニ 隠岐 T.
31. **Schizophrys aspera** (MILNE EDWARDS) ノコギリガニ 萩 S.
32. ***Micippa philyra** (HERBST) コワタクズガニ 隠岐外浜, 津田 S.
Fam. Parthenopidae ひしがに科
33. ***Lambrus (Platylambrus) validus** DE HAAM ヒシガニ 萩, 須佐, 浜田, 隠岐浦郷, 美保湾 S.
34. **Lambrus (Platylambrus) nummifera** RATHBUN ハナヒシガニ 萩 S.
Fam. Corystidae ひげがに科
35. **Pococatactes hamifer** ORTMANN トゲヒゲガニ 隠岐 T.
Fam. Portunidae わたりがに科
36. ***Ovalipes punctatus** (DE HAAN) ヒラツメガニ 方言——マンゴウガニ, チョウコガニ (鳥取) 浜田, 境 S. g.
37. (註1) **Portunus corrugatus strigilis** STIMPSON シワガザミ 馬島, 美保湾 T.
38. ***Charybdis japonica** A. MILNE EDWARDS イシガニ 浜田, 中海, 美保湾 T.
39. **Charybdis miles** DE HAAN アカイシガニ 浜田 S.
40. **Charybdis variegata** (FABRICIUS) カワリイシガニ 美保湾 S.
41. **Charybdis bimaculata** MIERS フタホシイシガニ 浜田 S.
42. (註2) **Neptunus (Neptunus) sanguinolentus** (HERBST) ジャノメガザミ 浜田, 境, 美保湾 S.
43. **Neptunus (Neptunus) pelagicus** LINNAEUS タイワンガザミ 方言——アオコ, アオテガニ (鳥取) 浜田, 隠岐美田, 中海, 淀江 S. g.
44. ***Neptunus (Neptunus) trituberculatus** MIERS ガザミ 浜田 T.
45. ***Neptunus (Amphitrite) gladiator** (FABRICIUS) イボガザミ 浜田, 中海 S. g.
46. ***Neptunus (Hellenus) hastatoides** (FABRICIUS) ヒメガザミ 淀江 S.
47. **Thalamita prymna** (HERBST) ベニツケガニ 浜田 S.
48. ***Thalamita sima** A. MILNE EDWARDS フタバベニツケ 浜田, 美保湾 S.
Fam. Atelecyclidae アテレシクルス科
49. ***Kraussia integra** (DE HAAN) ゴイシガニ 美保湾 S.
50. ***Erimacrus isenbeckii** (BRANDT) ケガニ 方言——サルガニ, モクガニ (鳥取) 鳥取沖 N. g.
Fam. Cancridae いちょうがに科

編集者註 (註1) **Macropipus corrugatus**. PENNANT.

(註2) **Portunus**, 以下46まで同じ。

51. *Cancer gibbosulus* (DE HAAN) イボイチョウガニ 萩, 淀江 T.
52. *Cancer amphioetus* RATHBUN コイチョウガニ 浜田, 日吉津 T.
53. *Cancer japonicus* ORTMANN イチョウガニ 萩, 浜田 T.
Fam. Xanthidae おうぎがに科
54. *Atergatis subdentatus* DE HAAN アカマンジユウ 萩 S.
55. **Atergatis reticulatus* DE HAAN ヘリトリマンジユウ 萩, 別府, 美保湾 S.
56. *Carpilodes erythrus* (LANCHESTER) チリメンガニ 美保湾 S.
57. **Actaea rüppelli orientalis* ODHNER ケブカアワツブガニ 美保湾 T.
58. **Actaea savignyi* (MILNE EDWARDS) サメハダオウギガニ 隠岐外浜, 美保湾 S.
59. (註1) *Acanthodes armatus* DE HAAN マツバガニ 萩, 見島 S. d.
60. *Pilumnus minutus* DE HAAN ヒメケブカガニ 高島, 周布, 美保湾 S.
61. *Eriphia laevimana smithii* McLEAY イボイワオウギガニ 萩, 周布 S.
Fam. Potamonidae さわがに科
62. *Potamon (Geothelphusa) dehaani* (WHITE) サワガニ 方言——タツガニ(隠岐),
ドロガニ, カワガニ(鳥取) 大麻山, 浜田, 坂本, 三瓶山, 隠岐中条, 根雨, 上菅 T.
Fam. Goneplacidae えんこうがに科
63. **Carcinoplax longimanus* (DE HAAN) エンコウガニ 見島, 浜田, 隠岐外浜, 大岩 S. d.
64. *Eucrate crenata* DE HAAN マルバガニ 境 S.
65. *Goneplax renoculis* RATHBUN メダカガニ 島根(横屋による) S. d.
66. *Ommatocarcinus macgillivrayi* WHITE メナガエンコウガニ 鳥井 S.
Fam. Pinnotheridae かくれがに科
67. *Pinnotheres cyclinus* SHEN マルピンノ 美保湾 T.
68. *Pinnotheres cardii* BURGER カギヅメピンノ 隠岐 S.
69. *Pinnixa rathbuni* SAKAI ラspanマメガニ 境 T.
70. *Tritodynamia japonica* ORTMANN ヨコナガピンノ 境 T.
Fam. Retroplumidae ゆうれいがに科
71. *Retropluma denticulata* RATHBUN ユウレイガニ 島根(横屋による) T. d.
Fam. Ocypodidae すながに科
72. *Ocypoda cordimana* DESMAREST ミナミスナガニ 萩 S.
73. **Ocypoda stimpsoni* ORTMANN スナガニ 方言——ハマガニ(下府, 鳥取) 飯浦,
下府, 隠岐, 千代川口, 大岩 T.
74. *Paracleistostoma cristatum* DE MAN アリアケモドキ 千代川口 T.
Fam. Grapsidae いわがに科
75. *Pachygrapsus crassipes* RANDALL イワガニ 方言——シマガニ(鳥取) 浜田,
境, 淀江 T.
76. (註2) *Planes minutus* (LINNAEUS) オキナガレガニ 境 S. T.

編集者註 (註1) *Hypothalassia armatus* (DE HAAN)

(註2) *Planes cyaneus* DANA

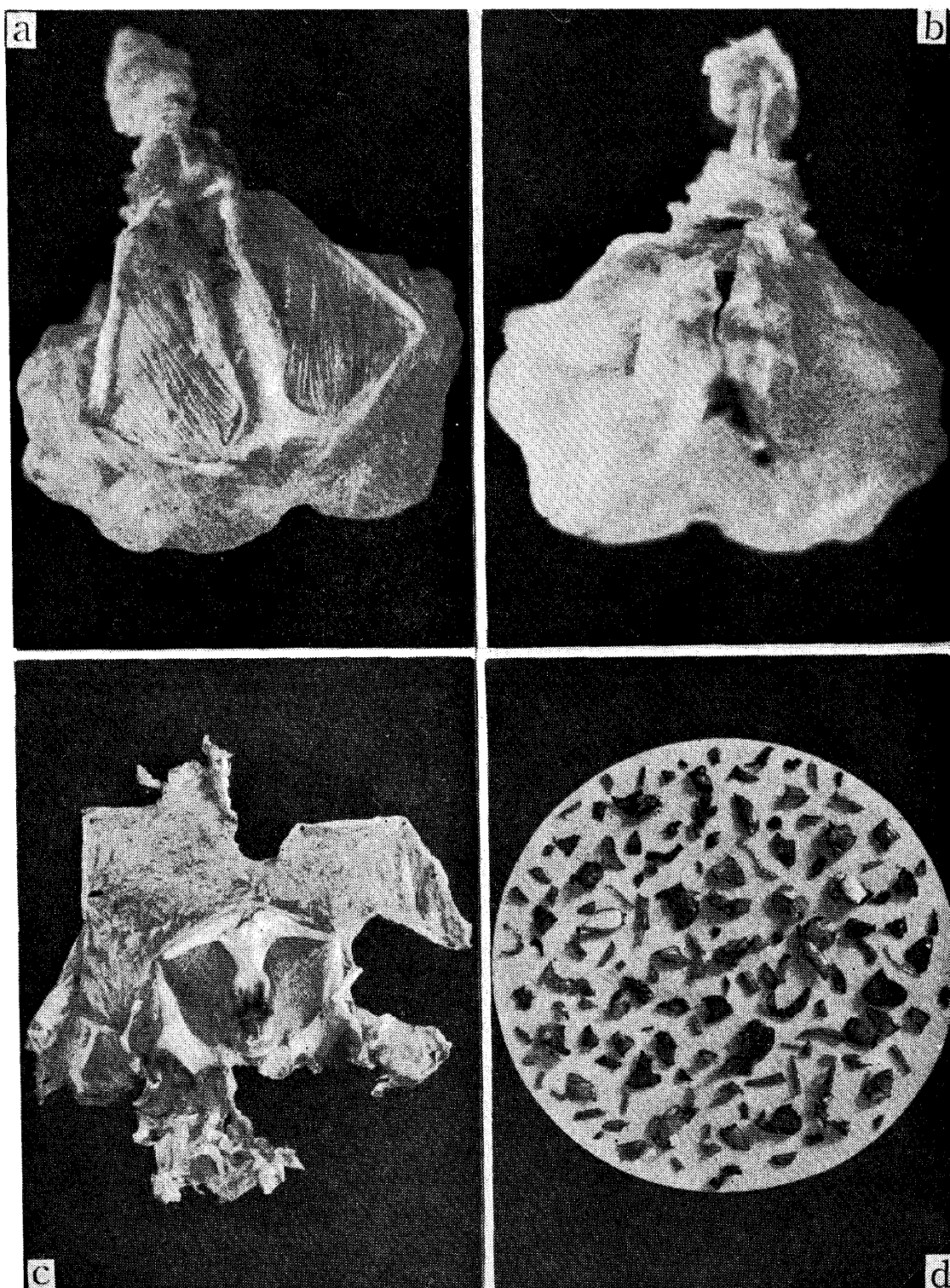
77. **Eriocheir japonicus* DE HAAN モクヅガニ 方言——ツガニ (石見), アキヤマガニ, ガンチャ (隠岐), ズボデ (本庄), カワガニ, ヅガニ (鳥取) 各河川 T.
78. **Hemigrapsus penicillatus* (DE HAAN) ウミモクヅガニ (ケフサイソガニ) 各地 T.
79. **Hemigrapsus longitarsis* (MIERS) スネナガイソガニ 隠岐 T.
80. **Hemigrapsus sanguineus* (DE HAAN) イソガニ 方言——シマガニ (鳥取) 各地 T.
81. **Gaetice depressus* (DE HAAN) ヒライソガニ 方言——ツマシロガニ (隠岐) 浜田, 隠岐 T.
82. *Acmaeopleura parvula* STIMPSON ヒメアカイソガニ 浜田, 隠岐外浜 T.
83. *Cyclograpsus intermedius* ORTMANN アカイソガニ 浜田, 美保湾 T.
84. *Chasmagnathus convexus* DE HAAN ハマガニ 浜田川口, 隠岐美田, 千代川口 T.
85. *Helice tridens tridens* (DE HAAN) アシハラガニ 隠岐中村 T.
86. *Sesarma (Holometopus) haematocheir* (DE HAAN) アカテガニ 浜田, 隠岐, 千代川口 T.
87. *Sesarma (Holometopus) dehaani* MILNE EDWARDS クロベンケイ 浜田, 隠岐, 松江, 千代川口 T.
88. *Sesarma (Sesarma) intermedia* (DE HAAN) ベレケイガニ 浜田, 千代川口 T.
89. (註)*Sesarma (Sesarma) gordonii* SHEN ゴードンガニ (新称) 日吉津 T.
90. *Plagusia dentipes* DE HAAN ショウジンガニ 萩 S.

III カニ類の分布

日本海側におけるわが国のカニ類相や分布について報ぜられたるものまれにして、菊池勘左衛門 (1932) が、富山湾の甲殻十脚類の精密なる調査に基く 116 種の中に 61 種のカニを挙ぐ。深海のものは寒海系の少数種であるが、浅海のものは多数の暖海系の種である。彼はこれを海流の影響によるものと考え、また (1937) 南北両系分布を境するものとして、湾内を東西に切半する線を仮定し、植木忠夫 (1951) はこれを菊池線と命名した。

ところで、山陰のカニ類は 90 種に達するが、今後増数が予想され、ことに富山湾に産し未だ当方で見つかっていない南方系 10 数種が期待できる。90 種中、淡水産のものは 6 種、海産 84 種のうち北方系はズワイガニ、ベニズワイ、ケガニの 3 種、南方系 50 種、中間系 31 種あり、南方系の中には富山湾に達するもの 22 種、達せざるものが 28 種もある。この 28 種中、トラフカラップ、メガネカラップ、コツノキンセンモドキ、ヨツメコブシ、アサヒガニ、ムツトゲマメツブガニ、ツノガニ、ジャノメガザミ、タイワンガザミ、アカマンジュウ、マツバガニ、マルバガニ、メナガエンコウガニ、ミナミスナガニ、ショウジンガニなどは西南日本海にあっては新記録で、もちろん富山湾には達しおらず。かくして山陰には富山湾よりもずっと多くの南方種が北上している。これは主として暖流の強勢によるものとする。

編集者註 *Nanosesarma gordonii* ヒメベンケイガニ。

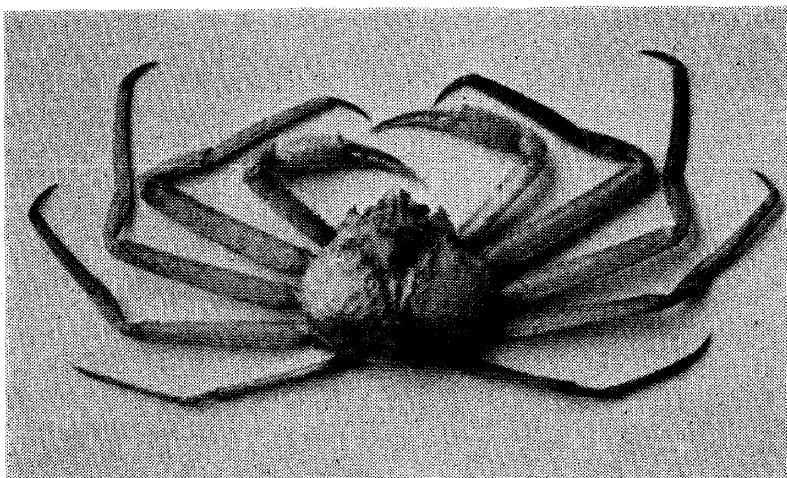


第1図 *Chionoecetes opilio elongatus* スワイガニの胃と内容物。 a 胃の背面で
上端は食道, b 胃の腹面でメスの切跡が見える, c 胃を切開して内部を示す。× 1.
d 内容物。× 0.7.

特種のカニについて

1. **Paratymolus sexspinosus** MIERS ムツトゲマメツブガニ 鳥取県西伯郡日吉津村の海岸（美保湾）で前田新平採，日本海新記録。
2. **Chionoecetes opilio elongatus** RATHBUN ズワイガニ 漁場は山陰沖全体にわたり，水深 200～400m，♀は 200m 前後，1961年 2 月中ごろ鳥取沖合から水揚げされ，販売中の♀2尾（a—甲長 115，甲幅 130mm，b—甲長 117，甲幅 127mm）を得て，胃を摘出し内容物を検するに，甲殻類の碎屑物が多数出た（第 1 図）経産カニは腹部幅広く丸型をなし，処女カニは腹部がせまい。
3. **Chionoecetes japonicus** RATHBUN ベニズワイ（山本孝治）日本海における日本人最初の採集は 1948 年で，すなわち，農林省水産試験場香住（兵庫県）分場で，山本孝治他が，香住沖合 60～70 海里的隠岐堆で生物調査をした際，10 月 2 日深さ 450m の所を底引網をやって 11 尾（♀11，♂10）を採集した。鳥取県水産試験場では 1961 年 11 月，鳥取県網代の N 30mil の所に，かに底刺網（長さ 300m）を実施，11 月 15 日に♀1尾，♂130尾，11 月 21 日に 148 尾を揚げた。このころ♀の生息所は水深 500～550m，明らかに♂とすみ場所をちがえている。

筆者が 11 月 21 日試験場で，その付属かんづめ工場に水揚げされているカニの色彩を観察したところ，漁師がショウジョウガニと呼ぶが如く，全体が著しく赤い。背面から見ると，甲はややうすい橙赤色，額角・眼窩内外両棘・側棘は赤色，ことに遠端部は濃い。5 対の脚は濃い橙赤色な



第 2 図 **Chionoecetes japonicus** ベニズワイ 鳥取県網代沖合産 ♀。

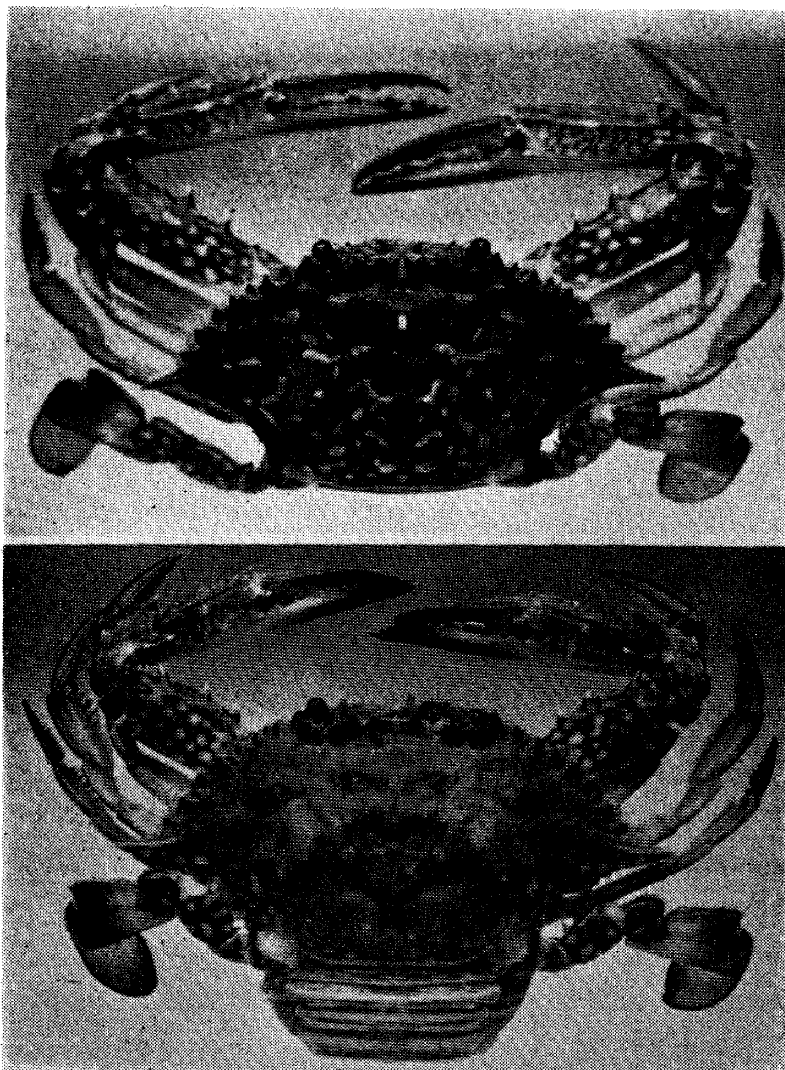
るも，腕節・前節・指節は濃赤色，鋏の両指の先は白く，歩脚の指節末端は橙色。腹面から見ると，各脚は総じて濃い橙赤色なるも，腕節・前節・指節は濃赤色，腹部はややうすい橙赤色である。

後胃域はズワイに比してせまく，後鰓域は著しくふくらみ，甲の側縁よりも外方に張出し，心域と腸域とのはさむ角は 120° （ズワイでは 140° 前後）。最大甲幅部は後鰓域の後方外側の両大刺間にある。47 甲につき，甲長を甲幅で除したる数は $0.95\sim 1.01$ ，モード 0.98 平均 0.97 で，甲長は甲幅よりごく僅に短い。甲長 136mm ，甲幅 136.5mm は大なる方である。脚は甚だ扁平，1 脚は甲長の 2.0 ，2 脚は 2.7 ，3 脚は 2.6 ，4 脚は 2.3 ，5 脚は 1.7 倍（第 2 図）

38 胃を得て内容物を検するに，ほとんどすべてが空虚で，1 胃だけにごく少量の碎せ

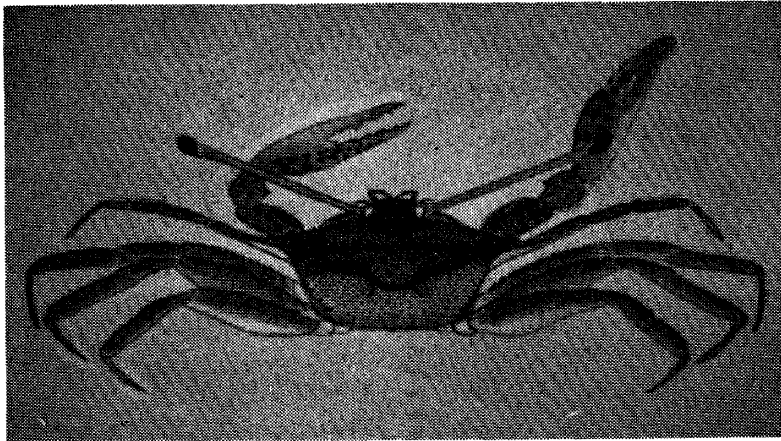
つ物（薄片）があって、それは節足動物を食べたものと想像された。肉に多量の水分を含有し、水ぽったくて、ゆがき凝固せる肉量は少い。

4. **Neptunus (Neptunus) pelagicus** LINNAEUS タイワンガザミ 鳥取県美保湾では夏季刺網で捕る。♂は甲長43~49mm, 甲幅100~103mm, ♀は甲長42~48mm, 甲幅94~105mm, 両者ともに甲幅は甲長の2.1~2.3, モード2.2倍である。雌雄により色彩を異にし（第3図）♂は甲背と鋏脚背面は紫褐色、多くの淡色雲紋あり、鋏の内側面と歩脚は藍青色、鋏脚と最後脚に多くの淡色斑紋あり、後者の指節は紫褐色。♀は甲背青褐色、濃い紫褐色の斑紋が両眼の直後に1, 両前鰓域に1, 両中鰓域に1計6個あり、鋏脚掌節は可動指との関節部位に、紫褐色の斑紋あり、鋏脚と最後脚に多くの淡色斑紋を見るほか、最後脚の指節は褐色である。



第3図 **Neptunus (N.) pelagicus** タイワンガザミ
美保湾産 ×0.6
上は♂, 下は♀
(抱卵中)

5. **Acanthodes armatus** DE HAAN マツバガニ 雌雄により鋏脚の刺相を異にし、♀は長鋭刺多く、♂では刺は少数にして短くかつ磨滅しがちである。

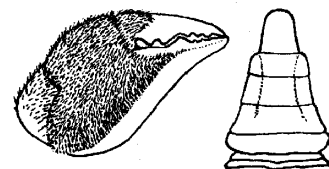
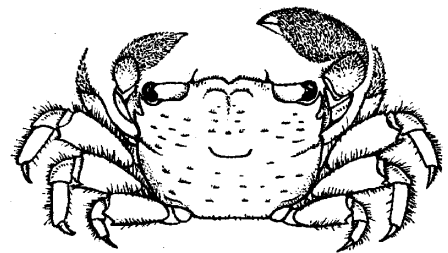


第4図 *Ommatocarcinus macgillivrayi* メナガエンコウガニ 鳥井産 ×1.3

6. *Ommatocarcinus macgillivrayi* WHITE

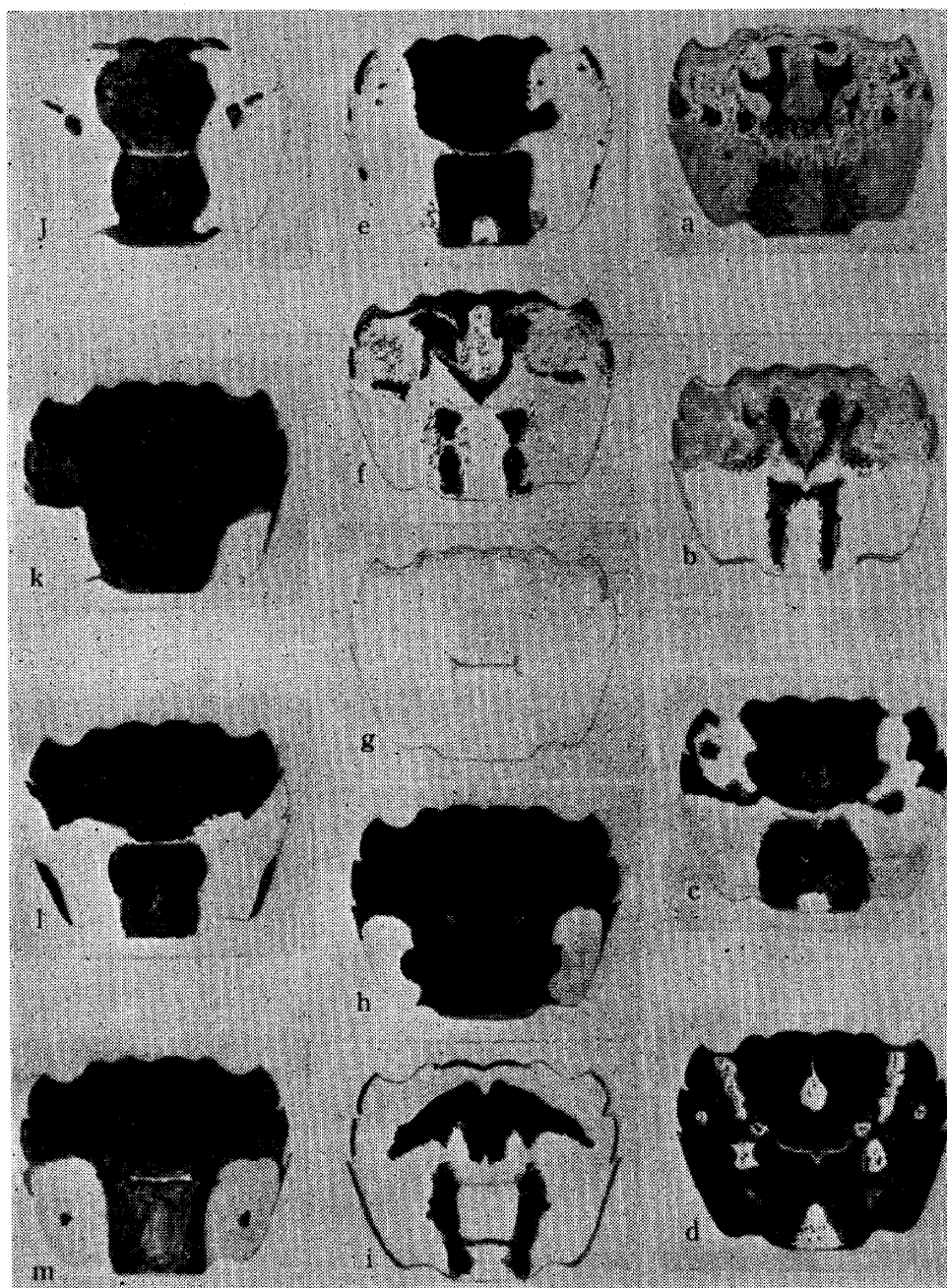
メナガエンコウガニ 島根県安濃郡鳥井村海岸で1949年11月発見されたもので、日本海からは最初の記録となる。故横田伊作氏から筆者にとどけられたおりには、すっかり乾燥標本、♀1甲長12, 甲幅27, 額幅4, 眼柄17mm (第4図)

7. *Pinnixa rathbuni* SAKAI ラスパンマメガニ クサフグの胃から発見 (鳥取水試境分場千田哲資), 日本海からは新記録。
8. *Tritodynamia japonica* ORTMANN ヨコナガピンノ ホシザメの胃から発見 (千田哲資), 日本海新記録。
9. *Gaetice depressus* (DE HAAN) ヒライソガニ 幼いときの甲殻の色彩は変化に富み、黒と白が種々なる程度にモザイクをなし、純白のものまであって、海岸におちている貝殻の破片と見まちがうほどである。しかし成大するにつれてかような色彩は見られなくなる。(第5図)
10. *Acmaeopleura parvula* STIMPSON ヒメアカイソガニ 泥粉をかぶって赤色を現わしていないものが多い。小さいカニにおいてはとくにそうである。手で触るとクモの如くに脚をちぢめて不動の姿態になるが、海水に入れると直ちに動き始む。筆者は初めて浜田市檜浦から採集、日本海新記録。
11. *Cyclograpsus intermedius* ORTMANN アカイソガニ 浜田市檜浦において観察するに、甲殻の色彩に紫色にして鮮明なるものと、紫色鮮明ならず褐色のまざるものと2型あり *Sacculina* の寄生せるものは主に前型のカニである。
12. *Sesarma (Holometopus) haematocheir* (DE HAAN) アカテガニ 幼時から成大到達するまでに色彩の変化が著しいので、出雲地方では季節によって色を変えるカニだという所がある。カニを捕えて手から放すともっと、明るい色になり、脱皮後のものはるも早も黒い(第6図のi)
13. *Sesarma (Sesarma) gordonii* SHEN ゴードン

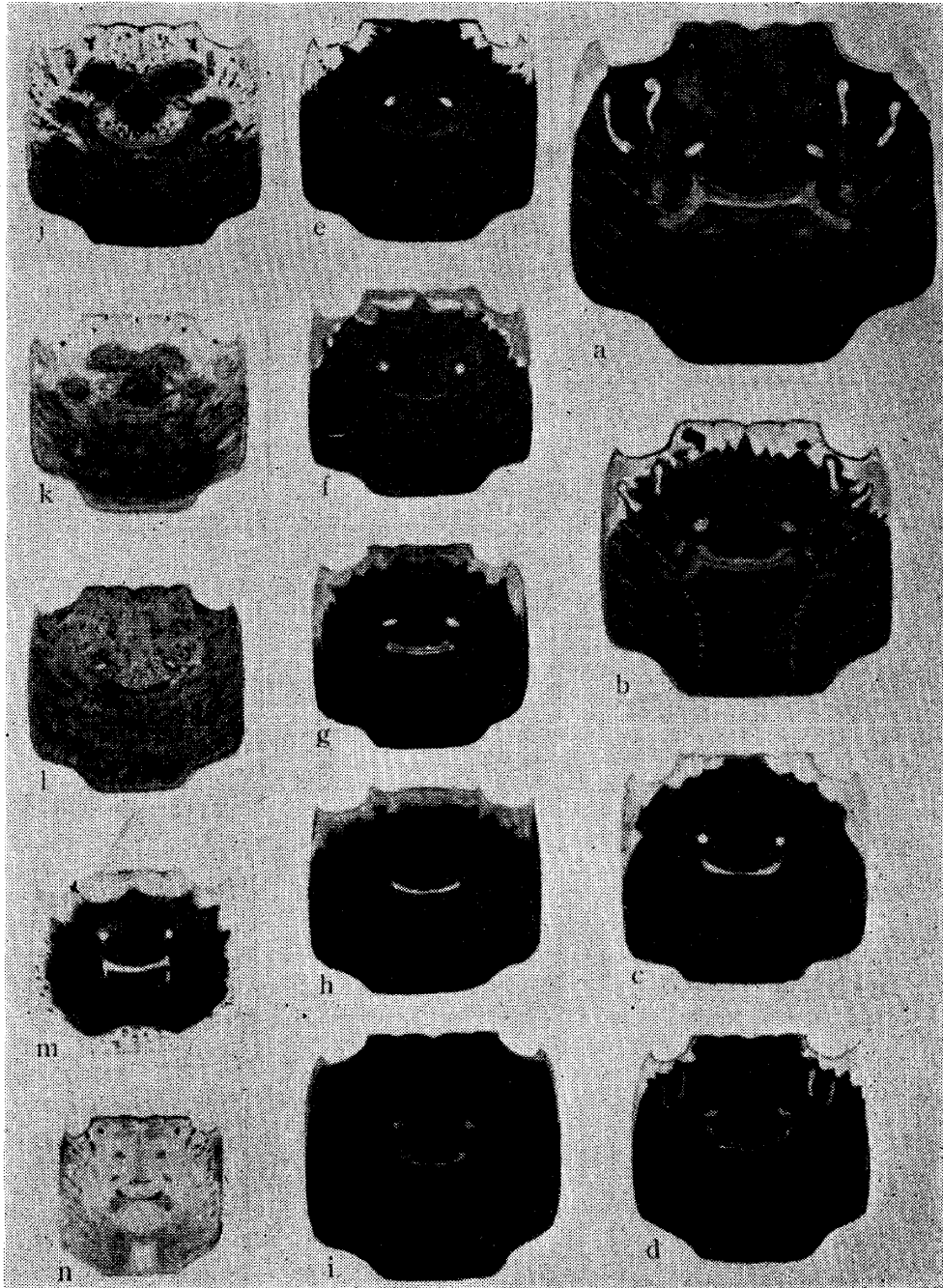


第7図 *Sesarma gordonii* (前註参照) ヒメベンケイガニ 美保湾日吉津産 × $\frac{3}{4}$, a 全形, b 鋏の外側面, c 腹部

ガニ（新称） 鳥取県西伯郡日吉津村海岸，すなわち日野川が美保湾に注ぐ河口の泥底浅所（川岸）において，1952年5月前田新平採集，♂1，甲長6，甲幅7mm（第7図），日本海新記録。



第5図 *Goetice depressus* ヒライソガニのごまかし（浜田市檜浦）。各甲長（単位mm）は，a—14，b—15，c—13，d~g—12，h—11，i—10，j—8，k~m—7，d~fは抱卵中。



第6図 *Sesarma (S.) haematocheir* アカテガニの成長にともなう色彩の変化 (浜田市殿町)。各甲長 (単位mm) は, a—35, b—28, c—23, d・e—22, f—21, g・h—20, i—24 (脱皮) 以上♂。j—22, k・l—20, m—18, n—15 以上♀。

IV 参 考 文 献

- 岸 田 隆 1954 鳥取県千代川水系の蟹類に就いて (謄写)。
 ——— 1962 鳥取沖から得られたるベニズワイとズワイガニとの比較研究。
 上 田 常 一 1949 鳥根沖合でとれたビワガニについて。鳥根水試月報1 (5)。
 ——— 1951 安濃郡鳥井村でとれたメナガエンコウガニについて。同上2 (4)。
 ——— 浜田に揚ったマツバガニについて。同上2 (5)。
 ——— 清 水 滙 二 1950 高津川のモクヅガニの食用。同上2 (2)。
 菊 池 勘左衛門 1932 富山湾の甲殻十脚類。富山教育。
 酒 井 恒 1936~1939 Studies on the crabs of Japan (I~IV)。
 植 木 忠 夫 1951 富山湾の文化財蛇ヶ島の諸相と保護について。富山教育 (44)。
 鳥 取 水 試 1948 鳥取県に於ける水産動植物の地方名調査。鳥水試資料 (13)。
 ——— 1953 モクヅガニ (*E. japonicus*) の生態調査。鳥水試事業報告 (昭27年度)。
 山 本 孝 治 1950 但馬沖から採集したベニズワイ (新称) に就いて。日本水産学会誌15(10)。
 横 屋 猷 1933 本邦近海大陸棚に棲息する甲殻十脚類の分布 (英文)。東京農大紀12(1)。

Rèsumè

The western part of Japan proper facing the Japan Sea is called the San-in District, in which the Oki Isls. are also included in this paper. The writer has been studying the crab-fauna of this district and its adjacent waters in spare times of his onerous duties, as the result of which 90 species of crabs are shown in the list of this paper. Of them 6 species are fresh-water crabs, while 84 species are marine consisting of 3 northern forms, 50 southern forms, and 31 intermediate forms. Among 50 southern forms 22 species are distributed further northwards, for instance, they are found in the list of crabs of Toyama Bay. The occurrence of southern forms, such as *Calappa lophos*, *C. philargius*, *Ranina ranina*, *Paratymolus sexspinosus*, *Neptunus* (*Neptunus*) *sanguinolentus*, *N. (N.) pelagicus*, *Atergatis subdentatus*, *Eucrate crenata*, *Ommatocarcinus macgillivrayi*, *Plagusia dentipes* and others in the Japan Sea side has never been recorded up to now. These peculiarities of the distributions coincide with the course and its largeness of the warm current along the coast of this district.